

## ～灘百選まつり～ あかりの盆

灘区では、灘の魅力資源「灘百選」を“知ってもらおう”“使ってもらおう”“伝えてもらう”という観点から、灘百選を活かしたまちづくりが進められている。

去る7月20日(日)に灘百選を活かした住民手



づくりの「まつり」として、新在家南町の「西郷酒蔵の道」で「～灘百選まつり～あかりの盆」が開催され、多くの人で賑わった。

このまつりは、灘区連合婦人会と地元の自治会や企業が実行委員会をつくり、何度も会合を重ねて実施にこぎつけたもので、公開企画提案会による審査を経て、灘区「地域力を高める」手づくりの活動・事業助成の対象事業にも選定された。

まつりは、ステージイベントで幕を開けた。沖洲太鼓の勇壮な演奏を始めに、灘区民を中心とした3組のバンドによる演

奏や「南京玉すだれ」、郷土芸能である「船寺神社の獅子舞」「酒造り唄」などが披露された。

会場内には、まつりのテーマである「あかり」



の演出として200本の酒ビンの灯籠が酒蔵の道沿いに並べられた他、提灯や灘区の歴史の花「菜の花」の油をともした行灯、ライトアップした酒ビンのモニュメントが設置され、地域住民等による模擬店がおまつりムードを盛り上げた。これは、灘



区の自慢でもある摩耶山掬星台から望むまちのあかり、震災復興のころのあかり、神戸みなとのあかりなどさまざまなあかりをイメージしたもので、色とりどりの“あかり”はまつりに来た人々の心を魅了した。

クライマックスの盆踊りは、灘百選の一つである「酒



蔵の道」に踊り手が列をなし、見物客も一緒になって踊り、会場の皆が大いに楽しむことができた様子であった。

まつりを終えて、実行委員の一人は、「まつりを開催して、灘の魅力スポットを区民に広く知っていただき、また南北住民の交流をはかることができたことは、大きな意義があった。これからは灘区の魅力を発信するとともに、区民の交流の場となるようなまつりを続けていきたい。」との抱負を語っていた。

# 「土木の学校(仮称)」活動開始!

「土木」は、中国古典の中にある「構築土木」に由来すると言われています。つまり、土を築いて堤を造り、木を高く構えて建物を造るなど、自然から得られる材料を利用して、人々が便利で、安全、安心に暮らせるようにする基本的な技術です。道路・鉄道・公園・堤防・ダム・水道やガスなどの供給施設など、私たちの周りには意外なほど「土木」の世界に囲まれています。

このようなくらしやまちを支える「土木」の役割を知り、理解を深め、私たちの将来のくらしに役立てる場として「土木の学校(仮称)」を設立し、みなさんと一緒に「土木」に関するいろんな活動を展開していきます。

## 1. 夏休み「土木の教室」

くらしやまちの中にある「土木」のしくみについて、楽しみながら学べる教室を開催しました。

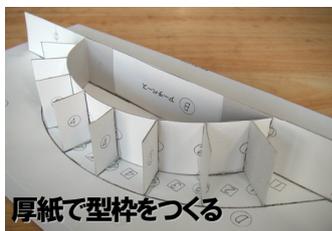
### アーチのパワーにびっくり!!

～石こうでアーチ橋をつくってその強さを体験しよう!～

○開催日：平成15年 8月23日(土) 13:00～17:00

○参加者数：26組(子供：32人 大人：28人 計：60人)

私たちのまちにあるアーチの橋のしくみについての説明を受けてから、参加した子供たちが一つづつ、



厚紙で型枠をつくる



石こうを流し込んで完成

つ、石こうアーチの橋をつくりました。厚紙を切って型枠をつくる作業では悪戦苦闘でしたが、石こうを流し込んだり、乾かして型枠をはがす作業ではワクワク、ドキドキの表情。参加者全員が石こうアーチ橋を完成させることができました。完成した橋は、夏休みの自由研究として持ち帰ってもらいました。

終了後のアンケートを参考にしながら、これからもくらしの中にある土木のしくみについての楽しい教室を開催する予定です。

### ○アンケート結果

#### 楽しかったところ

- ・橋ができたこと
- ・石こうを乾かして、紙をはがすところ
- ・受け台をはがしても、橋がこわれなかったところ
- ・今まで何気なく渡っていた橋に少し興味を持った。

#### むずかしかったところ

- ・厚紙をはさみで切るところ
- ・接着剤で部品をつけるところ
- ・完成したアーチブロックの組み合わせが分からなくなった



## 2. まちの研究～神戸の歴史と土木について～

土木の学校のメンバー達が、「神戸の歴史と土木」をテーマに、まち歩き、まち研究を行う予定です。

### テーマ1：みなと神戸の基、「兵庫津」の栄枯盛衰 ～兵庫津の歴史マップをつくらう!～

「兵庫津」は、神戸港発展の始まりの港です。兵庫津周辺の時代別マップを作成して、港として栄えた古い時代からのまちの移り変わりを研究します。

### テーマ2：フラワーロードは昔、生田川だった ～生田川付替え事業と居留地～

時代と共に姿を変えてきた生田川と、神戸の中心地である居留地を題材に、明治から現在までのまちの発展を研究します。

詳細をお知りになりたい方は、事務局までお問い合わせ下さい。

「土木の学校(仮称)」事務局

建設局道路部計画課 (Tel 3 2 2 - 5 3 8 9)

# 意外に?身近なまちづくり

by 中崎 みどり (プラン まち さと・WS 隊)

この冊子を手取る方の多くの方は、この題を少しおかしく感じるかも知れません。けれども私にとって“まちづくり”だなんて、もっと仰々しく“都市整備”“都市再開発”だなんて、まるで大学のある研究科目、または政府の仕事のような、遠い響きの“言葉”でしかありませんでした。

がひょんなことから WS 隊として活動するようになって、これらは自分も何かしらの形で参加する身近な活動と一変したのです。

「今度お祭りがあるね。」「新しい公園ができてる!?!」「あの道路、きれいに整備されたよね。」これらはすべてまちづくりの活動なのです。事前には多くのワークショップが開かれ、意見交換や試行錯誤が繰り返されます。そして一步一步確実に練り上げられていきます。全てに多くの方々関わっています。役所の方々をはじめ、コンサル会社の方々、自治体や市民団体の方々、そしてもちろん地元住民の方々。みなさんとても熱心です。使命感にあふれています。

私達WS 隊は、必要な手法・知識も学習した上で、そうしたワークショップや地域活動に参加し、お手伝いをします。私は、まちに無関心であった自分に後ろめたさを感じると共に、多くの方々の情熱に感銘を受け、まちに対する自らの姿勢を見つめ直すことが出来ました。

まちづくりは、小さなものも大きなものも、どれひとつとってみても、みんなのまち、自分のまちに根付いた活動です。誰もが様々な形で参加できます。願わくば、より多くの、より広い層の方々が興味を持ち、参加されますように。

# 濃すぎる...

by 山本 智佳子 (コー・プラン・WS 隊)

「まちづくりセンター?」名前はそのままだから分かります。開館当時なんて近くに住んでいても「まちづくり?何なんだろう?かかわらんほうが良さそう雰囲気くら〜」と思っていたのに、まさかWS 隊に入り勉強することになるとは半年前までは、まったく思いも付かずにいました、まだまだWS 隊のことを知らない方はたくさんいると思います。

初定例会の時みなさん年下で「うっわあ、どうしよう・・・」と思いました。でもWS に参加すると、やっぱりまちづくりを考えて活動なさってる方は40歳から上の方が多くて勉強になる事が多かったです。

これから先のことや、昔の神戸を懐かしむ声(祖母から聞いた町並みを親戚以外の方から)を聞くことが出来るのはWS 隊に入ったからだと思います。

兵庫区の東山コーポ住民意見交換会、東灘区の震災・復興総括検証、長田区の小学校他「へえ〜」と驚くこと楽しいことの発見・思い出・勉強が出来ました。

WS 以外の目は派遣先の野田北部まちづくり協議会で働いています。協議会での初仕事は細街路完成式、枠で付いたお餅を地元のお母さん方と丸めました。あまり見かけなくなった風景だと思います。「また半年でいなくなるんやなあ慣れてきた時にいなくなるねんなあ」と言われ続けてもう半年過ぎようとしています。地元のかわらばん記者、募集チラシ、ポスター、イベント司会に会議の議事録係、他にも色々しました。かなり本当に凄く、これでもか!と言うぐらい濃い〜い、濃すぎる半年でした。

# まちせん研究ネット 発足

まちづくりセンターでは、市民、学識経験者、専門家、市職員などで組織された自主的なまちづくり研究会と連携することによって研究活動を支援するとともに、研究成果をこれら研究会と共同発信することによって、まちづくりセンターの調査・研究機能を高めようと「こうべまちづくりセンター・研究ネットワーク」（略称：まちセン研究ネット）をモデル実施することになりました。

その発足を兼ねた第1回まちセン研究ネット打合せを、呼びかけに応じていただいた6つの研究会の代表の方に参加いただき、8月25日（月）にまちづくり会館で行ないました。

打合せでは、参加者の自己紹介や研究会の現状などの報告のあと論議に入りました。論議の中では、

・研究ネットワークの意味付けとして「まちづくり」については広く捕らえるが、あくまで研究が活動の中心になっていることが必要である。

・研究助成など共通する情報は、まちセンで収集し提供する。まちセンとして行なえることは、シンポや例会でまちづくり会館の会議室の提供やインターネットホームページでの情報発信などである。

・今後共同研究や共通テーマでのシンポジウム等が考えられるなど積極的な意見が出された。

また、参加者からは、活動団体のネットワークはあるが地域で研究学習している団体のネットワークは始めてではないかといわれるなど好評でした。

参加研究会の紹介等は、あーばんとーくなどで順次行ないます。

## まちづくり会館からのお知らせ

こうべまちづくり会館 1階オープンギャラリーの展示

9月 1日(月)～30日(火)	環境にやさしい建設リサイクル	都市計画総局 建築技術部技術管理課
-----------------	----------------	----------------------

こうべまちづくり会館 地階ギャラリーの予定

期 間	内 容・テ ー マ	主 催 者
9月11日(木)～16日(火)	葦の会展（油彩）	葦の会
9月18日(木)～23日(火)	フランス額装飾坂本宣子と生徒作品展	額装工房 アールデコ
9月25日(木)～30日(火)	兵庫倶楽部写真友会写真展	兵庫倶楽部写真会
10月 2日(木)～ 7日(火)	神戸芸術学林絵画展（油彩・水彩他）	神戸芸術学林

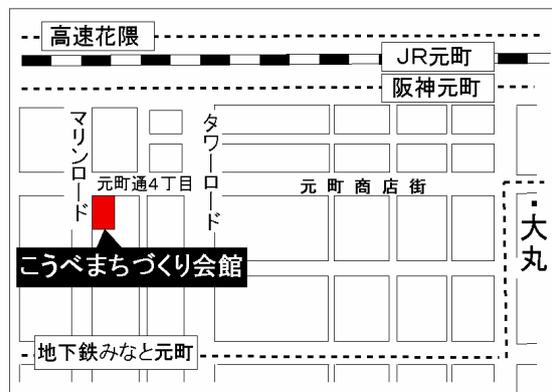
### 投稿のお願い

まちづくりセンターでは、「あーばんとーく」が読者の皆様のお役に少しでもたてるように、まちづくり協議会が行う地域でのイベントなどの行事案内やまちづくり協議会の活動の記事を募集しています。

誌面の許す限り最大限取り上げていきたいと考えています。

ご希望に応じて、取材にお伺いすることもできます。

まちづくりセンター（電話361-4523）までご一報ください。



### 最寄駅

地下鉄海岸線みなと元町駅西口から1分

高速花隈駅東口から3分

高速西元町駅東口から5分

JR・阪神元町駅西口から8分